

区分	全日本柔道連盟 公認柔道指導者資格制度 A指導員実施内容（カリキュラム）			時間数			
	No.	科目	内容	集合	その他	計	
種目の特性 に応じた 基礎理論	①	柔道論Ⅲ	柔道の本質	1	0	1	
			柔道発展史と近代柔道	1	0	1	
			柔道の国際化	1	1	2	
			柔道を通じた国際理解・貢献	1	1	2	
			柔道の今日的課題	1	1	2	
	②	安全管理・指導Ⅲ	柔道の安全管理・安全指導体制	2	1	3	
			柔道事故の実態と法的責任	1	1	2	
	③	指導者の倫理Ⅲ	暴力行為（ハラスメント等）のない柔道指導、礼節に裏付けられた行動とコンプライアンス	1	0	1	
	④	柔道の科学Ⅲ	柔道指導に必要な生理学的知識	2	0	2	
			柔道指導に必要な栄養学的知識	2	0	2	
			柔道指導に必要な心理学的知識	2	0	2	
			柔道指導に必要な運動学的知識	2	0	2	
	⑤	柔道指導論	柔道技術の練習法	1	0	1	
			目的や対象に応じた柔道指導	1	0	1	
	⑥	柔道の競技力向上 策	柔道競技力向上のための情報戦略システム	1	2	3	
			柔道競技者の養成システム	1	0	1	
			柔道指導者の養成システム	1	0	1	
	計				22	7	29
	実技	①	実践的指導	基本指導の応用と実践	1	0	1
投げ技と固め技の実践的指導				2	0	2	
対人技能（連絡技、変化技等）実践的指導				1	0	1	
②		体カトレーニングⅢ	体力向上とコンディショニング	1	2	3	
③		救急処置Ⅲ	柔道場での救急処置と事故後の対応	1	0	1	
④		審判規定と審判法Ⅱ	審判規定と審判法の実際、および問題点	1	1	2	
⑤		柔道形	各種「形」	2	0	2	
計				9	3	12	
指導実習	①	指導計画Ⅱ	指導計画立案の実践	3	2	5	
			指導計画の実施と評価の実践	3	4	7	
	②	対象に応じた指導法Ⅱ	対象に応じた指導の実践	3	4	7	
	計				9	10	19
合計				40	20	60	

*40時間の講習会終了後、検定試験を1時間行う。

その他20時間分の自宅学習、および課題レポートの提出を行う